

ハガキによるあなたの「平和論」②

静岡県 飯田直

みどり児のあどけない笑顔に、最っとも微笑ましい平和の具象を私は祝う。そこには「人間の業（ごう）」が微塵も介在しないからであり、昔から人類が描いてきた天国や極楽の姿とも言いたい。しかも、すべての人間は己が人生をこの無心からスタートするが、多くの者はこの純粋さを胸深く眠らせかつはそれを忘却し去っている。悲しいことである。

欺くして生き立つに従い、生きるために人生観、社会観、処世観、人間観・・・等が成長するが、それらにまつわりながら清純さを蝕（むしば）む「人間の業」がひそかにはびこりがちである。そしてその業の中核を成すのはエゴイズムやこれに関連した飽く無き欲望であり、そこに他を不幸に陥れるもろもろの現象に混じって弱肉強食も生じ、その最たるものとして大量殺人行為とも解される戦争の挑発が人類数千年の歴史を血で染めてきた。

現代文明の英知と良心は、戦争の愚かさや残酷さや悲惨な結末を知り尽くしており、平和への切実な希求と、平和こそ、あるべき人類本来の姿であると結論づけていると思われる。私達は生誕時の笑顔を取戻し、他を愛しながら自他の生命を天寿のままに全うする権利がある。その思念が、身辺、さらには広く世界の平和を花咲かせる踏出しであると確信する。

そうした意味からも、この平和公園の建設が世界平和建設への槌音となることを心から祈る次第である。